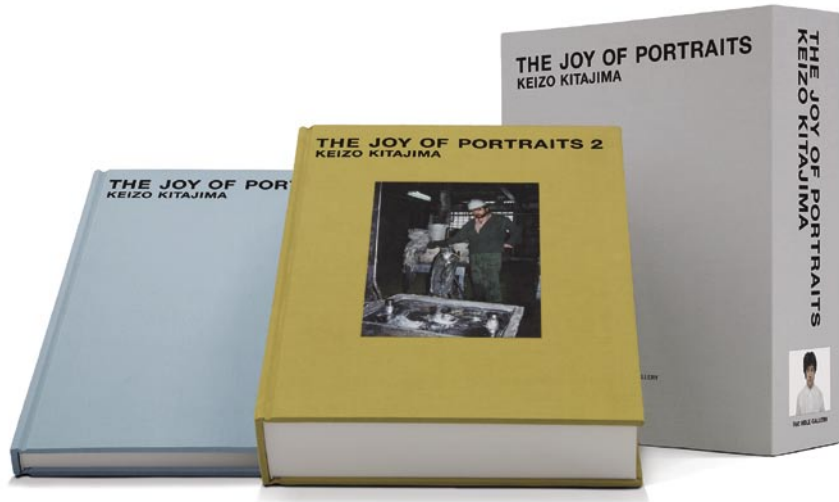


# THE JOY OF PORTRAITS KEIZO KITAJIMA



## THE JOY OF PORTRAITS

### THE JOY OF PORTRAITS 1

**PORTRAITS 1992-** (160ページ)

ハードカバー／全2巻函入／874ページ／A4判変型  
定価21,000円 (本体+税)  
限定1,500部

ご注文・お問い合わせはギャラリーホームページより、  
またはブエノ! ブックスまでお願いいたします。

**ブエノ! ブックス**

info@buenobooks.com  
www.buenobooks.com

**RAT HOLE GALLERY**

gallery@ratholegallery.com  
www.ratholegallery.com

〒107-0062 東京都港区南青山5-5-3 B1  
TEL. 03-6419-3581 FAX. 03-6419-3583

### THE JOY OF PORTRAITS 2

**KOZA 1975-1980**

**TOKYO 1979**

**NEW YORK 1981-1982**

**EASTERN EUROPE 1983-1984**

**BERLIN, NEW YORK, SEOUL, BEIJING 1986-1990**

**U.S.S.R. 1991**

テキスト 倉石信乃 (714ページ)



RAT HOLE GALLERY

# 北島敬三写真集 THE JOY OF PORTRAITS

2009年5月22日発売!

## THE JOY OF PORTRAITS 1

PORTRAITS 1992-



つねに強烈な存在感を示しながら、  
いままで全貌が明かされることのなかった北島敬三の、  
18年ぶりとなる待望の写真集。

1976年、北島敬三はベトナム戦争終結直後の沖縄・コザの基地街を撮影した作品で鮮烈にデビューする。その後、東京、ニューヨーク、東欧へと撮影地を展開していく。その写真は、いまま卓越した光彩を放っている。しかし自身は91年、崩壊直前の旧ソ連での撮影を最後に、ストリートからスタジオへと大きく制作方法を転換してしまう。北島はその時点で、スナップショットにおける「選択」と「瞬間」の美学を否定した。現在も継続している《PORTRAITS》は、大型カメラを使い、決められた条件と手順に沿って、同一人物が一定期間を置いて繰り返し撮影されている。モデルは300人以上、作品の総点数は2000点を超えた。このシリーズには、通常の意味での終わりも完成もない。したがって成功もない。美意識とも趣味判断とも無縁の、ただの「顔の写真」である。でありながら、いや、だからこそと言うべきか、見た者は恐るべきイメージの運動に出会う。感情移入や解釈の可能性を奪われたまなざしは、表面へと、「厚みなき厚み」へとまっすぐに折り返されて止むことはない。これは、写真を見るという経験の特徴ではないだろうか。そのときわれわれは、「顔の写真」がモデルや記憶の代理物などではなく、「実物」そのものであることを知る。スナップショットを捨てた北島がこのシリーズに賭けたものは、想像以上に大きかったのかもしれない。

本書『THE JOY OF PORTRAITS』は、92年から最新作までの《PORTRAITS》と、75年《KOZA》から91年《U.S.S.R.》までが未発表カットを多数含む、全2巻、総頁数874頁で構成され、北島敬三という類い稀なる写真家の全貌がいま明らかにされる。批評家・倉石信乃による精鋭論考「顔の名宛」と「遭遇の技術」は、その補助線となるものである。

## THE JOY OF PORTRAITS 2

KOZA 1975-1980



TOKYO 1979



NEW YORK 1981-1982



EASTERN EUROPE 1983-1984



BERLIN, NEW YORK, SEOUL, BEIJING 1986-1990



U.S.S.R. 1991

